

消費税増税は生活を破壊する 高額所得者への増税で所得再分配を

6月26日、衆議院で消費税増税法案が可決されました。何のための増税かも一切決めないままでの増税は言語道断です。低所得者ほど負担が大きい消費税の増税よりも、高額所得者の税率見直しや投機経済への課税を強める事を最優先すべきです。

市内の被災避難者の状況

被災者支援団体SAVE I W A T E (セイブイワテ)が盛岡市内のみなし仮設に住んでいる454世帯を対象にした聞き取り調査では、現時点でも15%以上、住宅への支援がなくなれば半数の方が生活保護の対象になり得るといふ結果でした。また、

被災者世帯の生活状況 (みなし仮設の454世帯を調査)
困窮状態 (生活保護の対象になり得る)
16%
仮設住宅など住居支援が終了すれば(2年後)困窮する
34%
自力で生活可能
50%

127世帯が求職中ですが、盛岡市での求人はサービス業が多く、漁業関係の仕事などに就いていた方々は自分に合った仕事が見つげづらい状況です。

消費税増税で中間層が消える

生活が厳しいのは被災者ばかりではありません。リーマンショック以降の景気低迷はまだ続いています。それに加えて、社会保障費や公共料金の値上げが続き、いわゆる『中流』の人たちが急激に減っています。このまま国民の購買力が減っていけば市場はさらに縮小し、今以上の雇用の悪化と景気低迷を引き起こします。これは何としても避けねばなりません。

所得再分配と景気対策を

増税はまず、金融資産課税や資産譲渡への課税、高額所得者の税負担を多くする累進課税の強化という部分から行うべきです。それと同時に、税収を国や地方の借金の穴埋めではなく、景気対策・仕事づくりに使うことが必要です。

市が行っている『リフォーム助成』は昨年度、2億円の投資で18億円弱の仕事を作りました。このような施策を拡大することが、景気を向上させる力になります。

庶民の政治をあきらめない

消費税増税法案の採決をめぐる民主党が分裂。政権交代による社会保障の充実と税の不平等是正の目標は達成できませんでした。当面は、政党に関わらず庶民の立場に立つ政治家を増やし、政治勢力とするよう努力していきます。

盛岡市議会議員

いせ志穂

事務所 〒020-0133 盛岡市青山3丁目29-4

電話・FAX 019-645-8510

<http://ise.nahan.jp/> E-mail: ise@nahan.jp



職員逮捕を生んだ土壌 情報公開の徹底が一番の改善策

1月27日、盛岡市職員が道路建設工事費を増注し発注した詐欺容疑で逮捕。その後、道路工事の設計金額を建設会社に教示し、謝礼を受け取った収賄容疑で2月11日に再逮捕されました。

今後盛岡市は内部調査を行いながら再発防止を徹底するとしていますが、その隠蔽体質を改めることから始めるべきです。

詐欺事件の概要

07年、被告が道路建設課在籍時、盛岡駅青山線街路築造その2工事（当初予算約6650万円、後に約8533万円に設計変更）において、恵工業・協積産業社員と共謀し、設計変更において工事費を増注し発注した容疑。

収賄事件の概要

07年12月、盛岡市が随意契約により約70万円で発注した明治橋大沢河原線ガードレールおよび単管パイプ設置工事に関し、協積産業社員に設計金額を教示し、謝礼としてビール券200枚（約十数万円分）を受け取った容疑。

裁判における被告の供述

当時、建設が終了した北山の県立盲学校脇の歩道に水が溜まるという不具合があったが、この改修を正規の工事発注手続きをせずに盛岡駅青山線工事の変更契約に北山の側溝工事の費用を含めて水増しした。当時の担当課において上司もその旨は知っており、そもそも、05年に行われた北山の歩道工事の発注が増注しによって実施されていた。また、当時の建設部において業者からの接待が行われていた。

被告は4月25日の公判において詐欺および収賄を認めたため、4月27日付けで盛岡市役所を懲戒免職になっている。

盛岡市の内部調査と主張

裁判の中で、盛岡市の組織的関与や業者からの接待の存在を指摘する証言があったため、建設関連部署から、最終的には一般事務職及び技術職の全職員を対象に内部調査を実施。結果として、①業者からの接待はない②正規の契約によらない建設工事の疑いがあるも

のが数件あった③工事発注に係る設計金額等の情報漏洩の疑いがあるものが1件あった。②、③については引き続き調査する。

5月8日の盛岡市議会全員協議会では「ヤミ工事的な事が一般的に起こっているという事実は確認できていない」と説明したが、5月22日裁判の中で市組織的関与を示唆する市職員の供述調書が証拠として提出された後、内部調査において「被告の上司が知っていた」とする複数件の回答があったことを認めた。

情報公開の徹底がなければ不正はなくなるらない

今回の不正は、盲学校の道路工事の不具合を正規の手続きから隠したままで行おうとしたことが発端だと思えます。内部調査の結果をすぐに発表しなかったことなどからも、盛岡市は失敗したことや都合の悪いことを表に出したくないと考えている傾向が強いように感じますが、これが不正を生み出す温床になっています。

まず情報公開を徹底することが改善の第一歩だと私は思います。

生活相談

随時受け付けています

「生活が大変になった」という声をよく耳にします。生活保護の相談をされることも増えました。困った時に使える保障制度や利用できる機関が今もありませんので、まずはお気軽にご相談ください。

相談は随時受付けています。事務所が留守の場合もありますので、その場合は何度かご連絡ください。（秘密は厳守します。就職斡旋は出来ません）



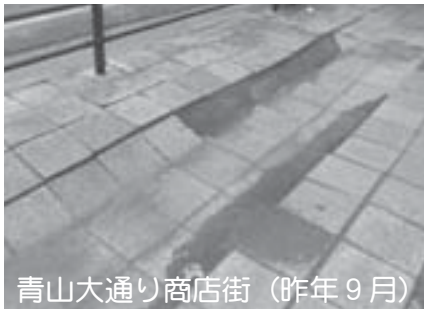
6月議会から議員の採否を市民に公開

01年3月、盛岡市議会内に作られた『インターネットに関する懇話会』の中で「発言の一部だけの掲載はその真意を伝えられないことが考えられる。従来は発言者の特定氏名を挙げるのは控えてきた」と伝えられました。まるで議会での発言を市民に公開することを嫌がっているような雰囲気憤りを覚え、その後、議会だよりや議会のホームページに、議員個々人の採決の結果を掲載するよう活動をしてきました。

実現まで11年もかかってしまいましたがこの6月議会分からは、採否が分かれた議案については掲載されることになりました。

震災で壊れた道や河川の修繕

「ベビーカーでは通れない」「歩いていて転びそうになった」など、たくさんの方にお声がけいただいた歩道や、わざわざ事務所にいらしていただいたいて教えていただいた、運動公園近くの河川の土手の決壊について、盛岡市を通じて管理者の岩手県に伝えました。



青山大通り商店街 (昨年9月)

少しばかり時間がかかりましたが、修復は終わっています。今後も危ない所に気づきましたらご一報ください。

自転車走行レーン(ブルーレーン)の延伸

岩手サイクリング協会と盛岡自転車会議が盛岡市に提言した『自転車走行レーンの延伸』が進んでいます。まず、岩手大学と一高の間に設置される予定です。昨年10月、警察庁は『歩道上の自転車走行の規制強化』を発表しました。安全な自転車走行のために、車道を自動車と自転車で分け合うことが大切。今後は安全教育に力を入れて行きます。

実現しました!

みなさんからいただいた情報やアイデアで実現したことの一部です。ありがとうございます。

給食食材の放射能測定を実施

「子どもたちの内部被曝が心配」という声を受けて、女性議員や栄養士さんと『給食を考える会・いわて』を昨年末に結成。

『給食食材全品の放射能測定を行うこと』を目標とした測定機器の配備と『子どもたちの放射線健康影響調査の実施』の要望書を県教育委員会に提出。また、12月の県議会でも同じ内容の請願が採択されました。

盛岡でも学校給食食材の放射能測定は始まっていますが、今後も注視していきます。

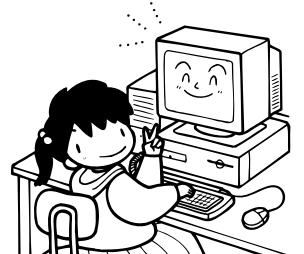
盛岡に進学する被災者に無料の学生寮

昨年12月の市議会で「盛岡市内に進学する被災学生の家の一部を補助できないか」という質問をしましたが「支援ニーズを把握し、次年度の事業展開を検討する」という答弁でした。

その後、この4月から『復興支援学生寮(シェアハウス)』という無料の学生寮が設置されました。

いせ志穂のホームページをご覧ください
<http://ise.nahan.jp/>

「市民参加はまず情報公開から」という考えで活動していますが、なかなか報告が出来ない状況です。ホームページでは、市議会などで貰った資料や様々な会議のメモ、視察の報告、日々私が感じたことなどを公開しています。ぜひ、ご覧ください。また、ご意見などはメール・ファックス・電話・郵便などでお気軽にお寄せいただければ幸いです。



覆馬場プラザで『赤レンガまつり』開催

『旧騎兵隊第3旅団覆馬場（青山二丁目）』が『盛岡ふれあい覆馬場プラザ』として市民への貸出が始まっています。これを記念し7月21日に左ポスターのような催しを開催します。ふるってご参加ください。

04年からの保存運動が実る
7年半の保存運動の結果、ついに改修が終わり6月1日から貸出が始まっています。交流棟に使われている梁は旧森永兵舎に利用されていたもの。青山の歴史を伝える美しい建物となりました。

青山地区まちづくり協議会が覆馬場プラザの指定管理委託
盛岡市で昨年から始まった『地域協働』の活動で、青山地区まちづくり協議会が結成され活動が始まっています。

私は市議になった当初から、誰



赤レンガまつり
7月21日（土）10:00～18:00
盛岡ふれあい覆馬場プラザ

生まれ変わった覆馬場の開館を記念してお祭りを開きます。多くの方のご来場をお待ち申し上げます。

赤レンガベンチ作り
丸太ベンチ作り
学生さんなどによるステージ発表
三浦わたるさんミニコンサート
屋台やゲームコーナーもあるよ！
※雨天決行

100年以上前のレンガや丸太を使ってベンチを作ろう
ご参加いただく大人の方には参加費（セメントなどの材料費）をお願いします

主催 青山地区まちづくり協議会

でも参加できる『まちづくり提案会議』の設置を主張してきましたので、この『地域協働』の取組みには期待しています。

今回、盛岡ふれあい覆馬場プラザの管理運営は青山地区まちづくり協議会が受託しました。単なるスポーツ施設としてだけでなく、地域の歴史を学んだり、今後の青山地区をより良い地域にしていくための交流の場として使われる施設にしていきましょう。

レンガのベンチを みんなで作って設置しよう

青山町には覆馬場プラザと同じ作りの建物がつい最近まで数棟残っていました。残念ながらそれらは取り壊されてしまったのですが、保存運動をしていた人たちによってそのレンガは再利用できるよう加工され保管されています。

7月21日に開催される『赤レンガまつり』で、それらのレンガでベンチを作って寄贈しようということになりました。多くの方が関わる催しにしたいと思います。ご参加をお願いいたします。

（詳細は上記をご覧ください）

【お手伝いください】

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。ニュースを知人に見せてくださる、ポスティングなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。また、可能な場合はカンパへのご協力もよろしくお願いします。郵便振替口座 02230-8-52327 伊勢志穂



【勉強会などへのおさそい】

社会が大きく変わろうとしている中、第一線で活躍している方をお呼びして役に立つ知識を教えてもらったり、今後どうしていったらよいかを一緒に考えるため、勉強会を企画しています。ご興味のある方はお問い合わせください。

